

府内市町村の動き

堺市

- 堺市は、府内で初めて「環境モデル都市」に指定された。

これは、温室効果ガスの大幅な削減など高い目標を掲げて先駆的な削減取組にチャレンジする都市のことで、全国で13自治体。

市では、市・事業者・市民・大学等と一体となり、産業構造の転換、都市構造の変革、環境文化の創造を進め、温室効果ガスの排出量を2005年度（基準年度）から2030年度までに15%減、2050年度までに60%減を目指す。

市ではこの取組を通じ、快適な暮らしとまちの賑わいが持続する低炭素型都市「クールシティ・堺」の実現を図る考え。



泉大津市

- 泉大津市は、「子ども意見箱」制度を創設した。

これは、市内在住の小中学生から、泉大津市のこれからについて意見やアイデアを募集するもの。

今回のテーマは、①市内にあるとよい施設や設備、②学校にあるとよい施設や設備、③市内在住の大人にお願いすることの3つで、ホームページ、電子メール、郵便、各学校に設置されている意見箱に意見を投稿する。

上記テーマによる意見募集は終了したが、今後、施策を進めるにあたって必要なテーマで意見募集を行っていく。

市では今後、「子ども委員会」を立ち上げ、次世代育成計画を改定する際にも意見を求め、計画に反映させていく考え。

八尾市

- 八尾市は、「天然ガス車普及促進モデル地域」に指定された。

これは、地方公共団体が中心となって協議会を設置し、天然ガス車普及促進計画に基づき集中的かつ計画的な天然ガス車の導入及びその環境整備を実施する地域が指定されるもので、市域全体が指定されるのは府内初。

この指定により、天然ガス車の購入に係る国庫補助の優先採択や環境での先進性を全国的にPRされる等の国の支援措置が受けられる。

市ではこの取組を通じ、「八尾のまちから黒煙ゼロ、まちぐるみで黒煙ゼロ、空気のきれいな八尾のまち！」を目指す考え。

箕面市

- 箕面市では、商工会議所が中心となり、「ゆずともみじの里・プロジェクト会議」を設置した。

これは、府内でも珍しい柚子の出荷生産地である同市の地域性を活かし、市、農協、NPO等の関係団体が連携し、柚子を用いた新しい特産品の開発や販路の開拓など、柚子プロモーションを実施していくもの。

現在、地元農家の方々が作る「柚子マーマレード」が人気を博しているが、柚子入りケーキや和菓子などの食品のほか、石けんや化粧品などのオリジナル商品を本年秋までに開発し、紅葉シーズンに合わせ販売していく。

市ではこの取組を通じ、もみじとともに新たな特産品を生み出し、観光客をはじめ、全国に向けて箕面の魅力を発信していきたい考え。

全国の市町村の動き

神奈川県茅ヶ崎市

- 茅ヶ崎市は、市立病院の診療費等の未収金に対する民事訴訟法に基づく提訴を行うことを決めた。これは、督促通知や電話催促、戸別訪問等による再三の支払い請求にも応じない未払金50万円以上の悪質な滞納者に対し訴訟提起するもの。2月末までに市立病院と契約した弁護士から内容証明郵便を送付し、3月中旬までの入金状況により訴訟対象者を選定する。市ではこの取組を通じ、増加傾向にある未収金の回収を進めていく考え。

京都府宇治田原町

- 宇治田原町及び町教育委員会は、「まちの名人～あんな人、こんな人～紹介事業」の制度を拡充した。これは、町に伝わる伝承・技能や環境学習などの10分野に登録されている人材を、住民グループ等からの依頼をもとに生涯学習講座等に派遣し、活動をサポートするもの。今回、小中学校へ派遣し、郷土史や食育等の出前授業なども実施していく。町及び町教育委員会ではこの取組を通じ、世代を超えた町民同士の交流を活発にし、町を活性化させていきたい考え。

京都府笠置町、和束町、南山城村

- 笠置町、和束町、南山城村は、「相楽東部広域連合」を設立した。この広域連合では、3町村の共通事務である広報誌の発行や保健福祉組織の設置・運営等に関する事務を処理している。さらに、本年4月より全国で初めて教育委員会の事務についても実施する。これまで、笠置町と南山城村で一部事務組合により中学校を設置・運営していたが、3町村で教育委員会全体を統合することにより、社会教育施設の相互利用や組織統合による人件費等の節減が可能となり、財政効率化の効果も期待できる。3町村ではこの取組を通じ、さらなる財政効率化を進めていきたい考え。

香川県小豆島町

- 小豆島町は、会員制のファンクラブ「クラブオリブ」を設立した。これは、島外で活躍している町出身者や町にゆかりのある人に会員登録してもらい、小豆島のPR活動やまちづくりなどの町政に対する提言等を行ってもらうもの。会員あてのインターネットを活用した小豆島に関する情報提供に加え、メールマガジンの配信を開始し、会員のPR活動をサポートしている。今後、都市部で会員と町政について意見交換の場を設ける予定。町ではこの取組を通じ、町出身者の力も活用したまちづくりを進めていく考え。

会員証

